

東京外かく環状道路連絡協議会 第23回 環境保全専門部会

工事監視の観測状況について

- ・矢切地区
- ・稲荷木地区
- ・東西線周辺地区

平成23年3月14日

国土交通省首都国道事務所

東日本高速道路(株)千葉工事事務所

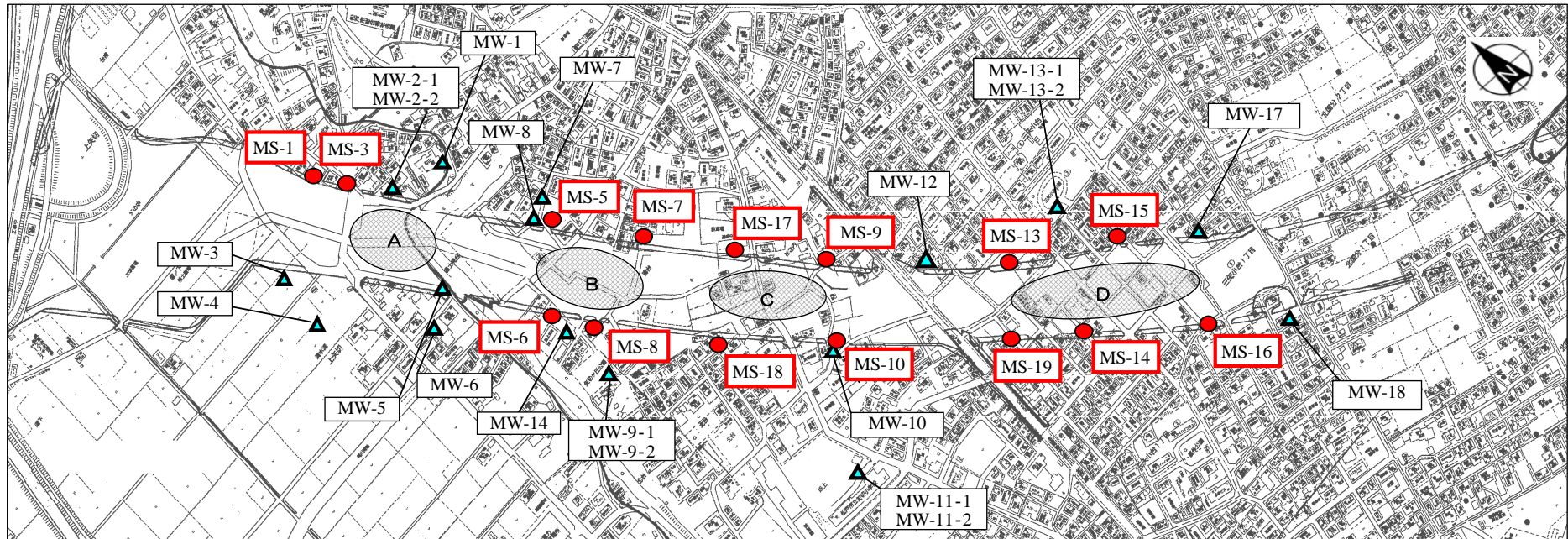
矢切地区の10月の調査結果のお知らせ

■担当窓口：国土交通省関東地方整備局
首都国道事務所 調査設計課
■電話番号：047-362-4115

平素は、国土交通省の^{がいのん}外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
首都国道事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ^{がいのん}外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
そのうち、10月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

1. 調査項目および調査地点

調査項目、および調査地点を下の図に示します。



| 施工範囲 | 施工業者 |
|-------------|-------------------------|
| A 矢切舗装その4工事 | (株) 佐藤渡辺 オリエンタル白石(株) |
| B 矢切函渠その5工事 | (株) 不動テトラ |
| C 矢切函渠その6工事 | 青木あすなる建設(株) |
| D 矢切函渠その7工事 | (株) 大林組 |

| 凡例 | |
|----|--------------------------|
| ● | ：騒音・振動調査地点（15地点） |
| ▲ | ：地下水位・水質（水位：20地点、水質：7地点） |
| ○ | ：工事の施工範囲 |

2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○ 法律による規制基準を満足しています。

| 調査地点 | 付近の工事内容 | 騒音レベル L_{A5} (dB) | 振動レベル L_{10} (dB) | 調査日 |
|-----------|-------------|---------------------------|---------------------------|--------|
| MS-1 | A 矢切舗装その4工事 | 65 | 52 | 10月22日 |
| MS-3 | | 65 | 43 | |
| MS-5 | B 矢切函渠その5工事 | 55 | 37 | 10月7日 |
| MS-6 | | 54 | 41 | |
| MS-7 | | 56 | 42 | |
| MS-8 | | 55 | 43 | |
| MS-9 | C 矢切函渠その6工事 | 56 | 50 | 10月8日 |
| MS-10 | | 58 | 44 | |
| MS-17 | | 58 | 49 | |
| MS-18 | | 57 | 40 | |
| MS-13 | D 矢切函渠その7工事 | 58 | 44 | 10月20日 |
| MS-14 | | 61 | 43 | |
| MS-15 | | 62 | 44 | |
| MS-16 | | 59 | 38 | |
| MS-19 | | 64 | 47 | |
| | | | | |
| 法律による規制基準 | | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 | |
| | | 85 | 75 | |

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準値と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準値と比較する値です。

3. 地下水質調査結果（調査日：10月13日）

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 測定地点 | MW-2-1 | MW-2-2 | MW-3 | MW-8 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| pH | 6.7 | 6.4 | 7.1 | 6.8 |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 測定地点 | MW-10 | MW-12 | MW14 | |
| pH | 6.6 | 6.7 | 6.9 | |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | 0.016 | |

解説

★測定項目について

●pH（水素イオン濃度）

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあるため監視測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

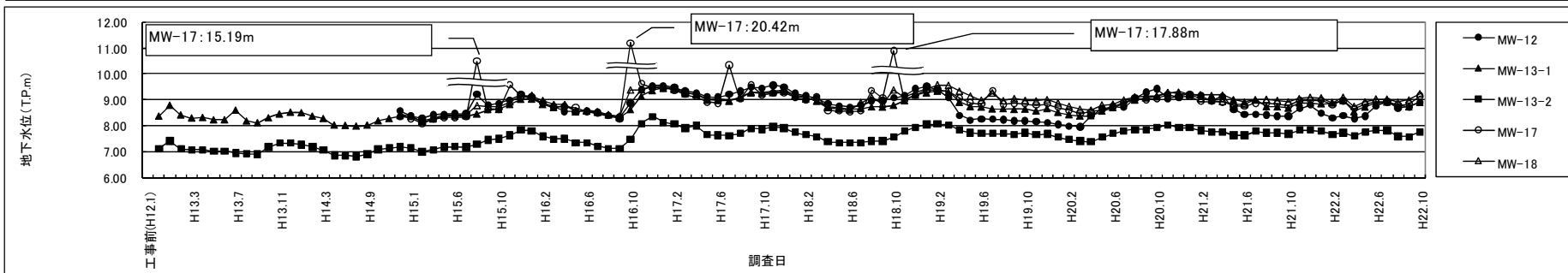
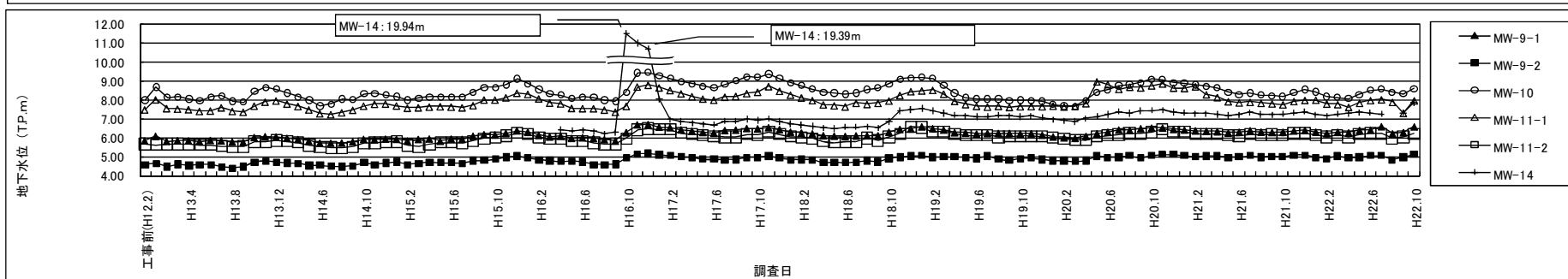
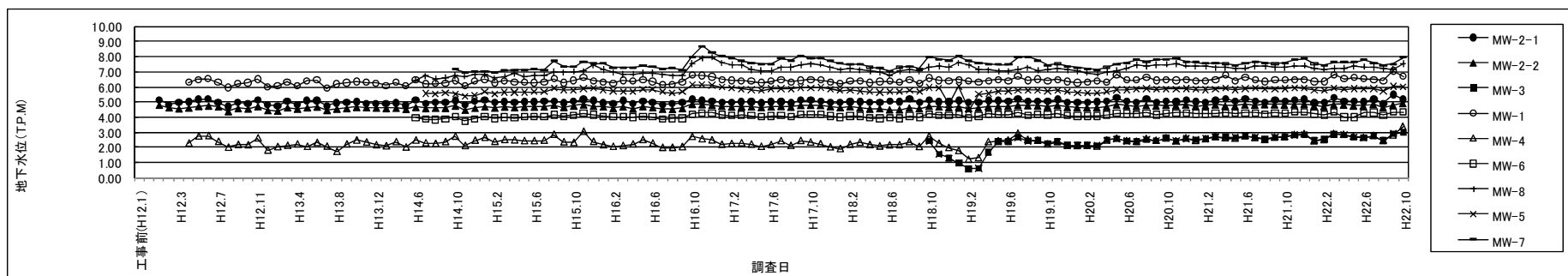
4. 地下水位調査結果（調査日：10月12日）

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○これまでに工事による地下水位の低下は見られません。

| 調査月 | MW-1 | MW-2-1 | MW-2-2 | MW-3 | MW-4 | MW-5 | MW-6 | MW-7 | MW-8 | MW-9-1 |
|-----|-------|--------|--------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|---------|
| 8月 | 6.40 | 4.92 | 4.66 | 2.46 | 2.43 | 5.7 | 4.12 | 7.45 | 7.22 | 6.22 |
| 9月 | 7.07 | 5.48 | 4.80 | 2.91 | 2.79 | 6.04 | 4.34 | 7.50 | 7.15 | 6.28 |
| 10月 | 6.70 | 5.18 | 4.93 | 3.00 | 3.36 | 6.01 | 4.35 | 7.94 | 7.55 | 6.58 |
| 調査月 | MW-10 | MW11-1 | MW-12 | MW-13-1 | MW-14 | MW-17 | MW-18 | MW9-2 | MW11-2 | MW-13-2 |
| 8月 | 8.39 | 7.89 | 8.69 | 8.77 | — | 8.80 | 8.90 | 4.82 | 5.97 | 7.59 |
| 9月 | 8.32 | 7.31 | 8.72 | 8.73 | 7.32 | 8.84 | 8.99 | 4.97 | 6.05 | 7.58 |
| 10月 | 8.59 | 7.97 | 8.91 | 8.91 | 7.83 | 9.15 | 9.23 | 5.12 | 6.21 | 7.76 |

測定結果の単位はm (T.P.)



備考 1：上表の平成 15 年 8 月、平成 16 年 10 月～12 月、及び平成 18 年 10 月に確認された地下水位の上昇は、工事に起因するものではないことを確認しております。

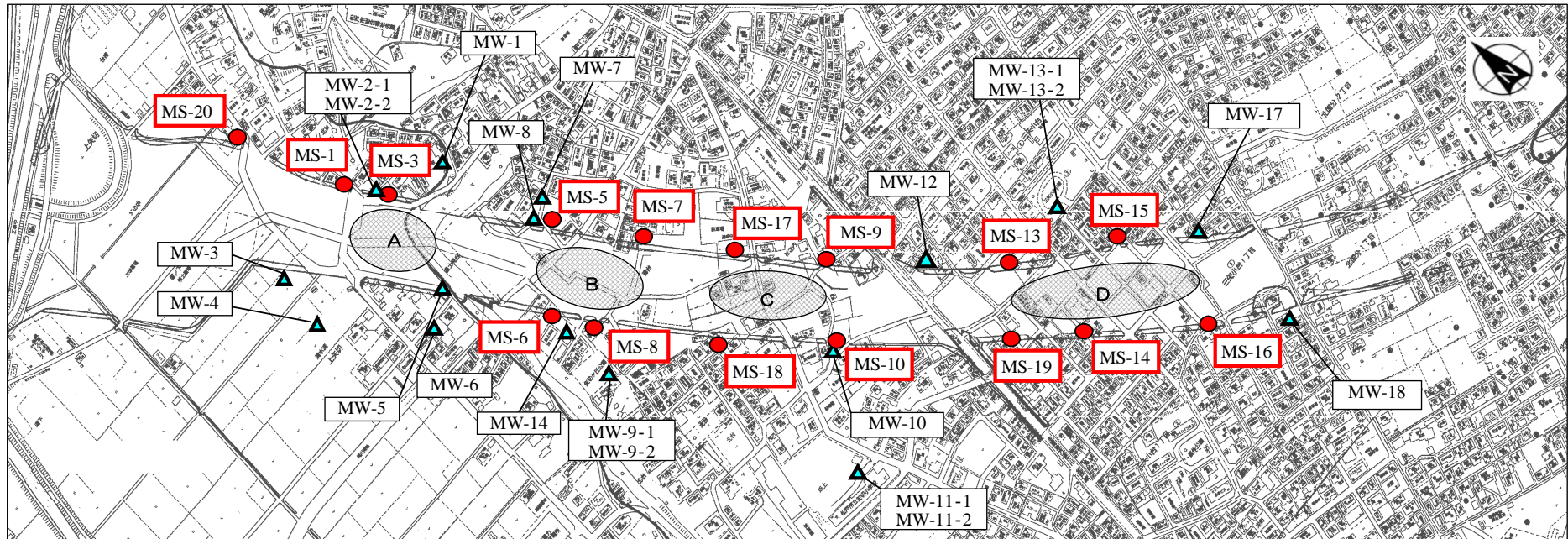
矢切地区の11月の調査結果のお知らせ

■担当窓口：国土交通省関東地方整備局
 首都国道事務所 調査設計課
 ■電話番号：047-362-4115

平素は、国土交通省の^{がいのん}外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 首都国道事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ^{がいのん}外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、11月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

1. 調査項目および調査地点

調査項目、および調査地点を下の図に示します。



| 施工範囲 | 施工業者 |
|-------------|-------------|
| A 矢切舗装その4工事 | (株) 佐藤渡辺 |
| B 矢切函渠その5工事 | (株) 不動テトラ |
| C 矢切函渠その6工事 | 青木あすなる建設(株) |
| D 矢切函渠その7工事 | (株) 大林組 |

| 凡例 | |
|----|--------------------------|
| ● | ：騒音・振動調査地点（16地点） |
| ▲ | ：地下水位・水質（水位：20地点、水質：7地点） |
| ○ | ：工事の施工範囲 |

2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○ 法律による規制基準を満足しています。

| 調査地点 | 付近の工事内容 | 騒音レベル L_{A5} (dB) | 振動レベル L_{10} (dB) | 調査日 |
|-----------|-------------|---------------------------|---------------------------|--------|
| MS-20 | A 矢切舗装その4工事 | 60 | 39 | 11月1日 |
| MS-1 | | 70 | 53 | |
| MS-3 | | 69 | 50 | |
| MS-5 | | 55 | 39 | |
| MS-6 | B 矢切函渠その5工事 | 58 | 43 | 11月11日 |
| MS-7 | | 57 | 41 | |
| MS-8 | | 64 | 44 | |
| MS-9 | | 57 | 51 | |
| MS-10 | C 矢切函渠その6工事 | 59 | 44 | 11月18日 |
| MS-17 | | 59 | 47 | |
| MS-18 | | 58 | 40 | |
| MS-13 | | 58 | 41 | |
| MS-14 | D 矢切函渠その7工事 | 61 | 42 | 11月15日 |
| MS-15 | | 63 | 46 | |
| MS-16 | | 60 | 44 | |
| MS-19 | | 64 | 47 | |
| | | | | |
| 法律による規制基準 | | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 | |
| | | 85 | 75 | |

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準値と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準値と比較する値です。

3. 地下水質調査結果（調査日：11月12日、26日）

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 測定地点 | MW-2-1 | MW-2-2 | MW-3 | MW-8 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| pH | 7.0 | 6.6 | 7.5 | 7.2 |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 測定地点 | MW-10 | MW-12 | MW14 | |
| pH | 6.5 | 7.1 | 7.1 | |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | 0.031 | |

解説

★測定項目について

●pH（水素イオン濃度）

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあるため監視測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

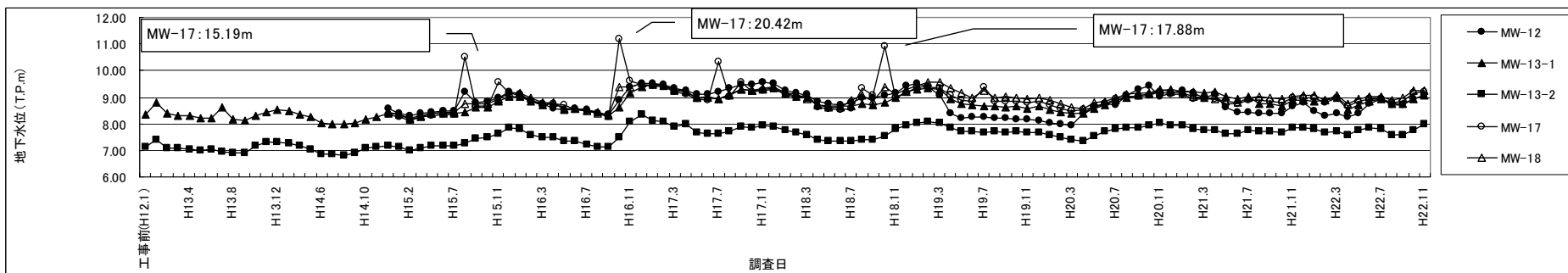
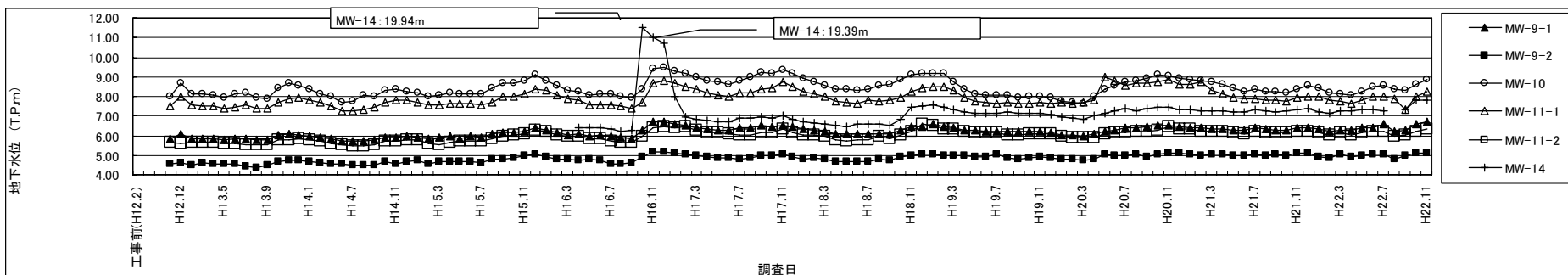
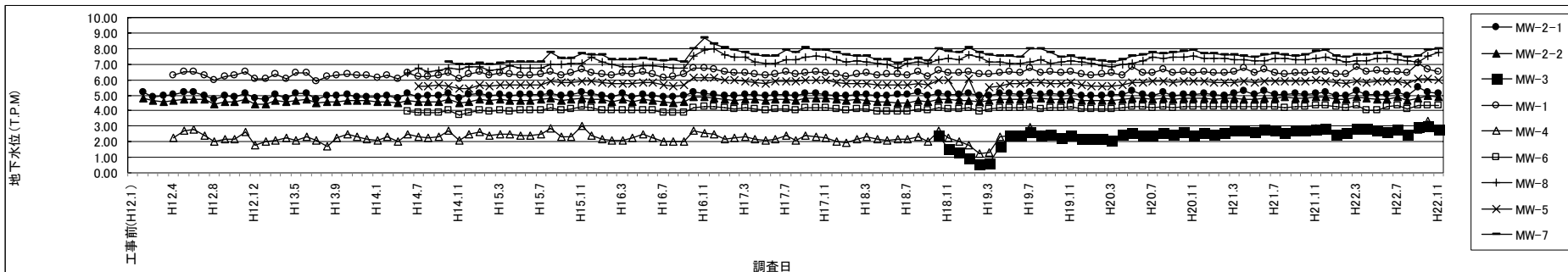
4. 地下水位調査結果（調査日：11月11日）

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○これまでに工事による地下水位の低下は見られません。

| 調査月 | MW-1 | MW-2-1 | MW-2-2 | MW-3 | MW-4 | MW-5 | MW-6 | MW-7 | MW-8 | MW-9-1 |
|-----|-------|--------|--------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|---------|
| 9月 | 7.07 | 5.48 | 4.80 | 2.91 | 2.79 | 6.04 | 4.34 | 7.50 | 7.15 | 6.28 |
| 10月 | 6.70 | 5.18 | 4.93 | 3.00 | 3.36 | 6.01 | 4.35 | 7.94 | 7.55 | 6.58 |
| 11月 | 6.51 | 5.09 | 4.88 | 2.80 | 2.78 | 5.98 | 4.34 | 8.00 | 7.73 | 6.69 |
| 調査月 | MW-10 | MW11-1 | MW-12 | MW-13-1 | MW-14 | MW-17 | MW-18 | MW9-2 | MW11-2 | MW-13-2 |
| 9月 | 8.32 | 7.31 | 8.72 | 8.73 | 7.32 | 8.84 | 8.99 | 4.97 | 6.05 | 7.58 |
| 10月 | 8.59 | 7.97 | 8.91 | 8.91 | 7.83 | 9.15 | 9.23 | 5.12 | 6.21 | 7.76 |
| 11月 | 8.86 | 8.22 | 9.07 | 9.06 | 7.81 | 9.19 | 9.24 | 5.13 | 6.31 | 7.98 |

測定結果の単位はm (T.P.)



備考1：上表の平成15年8月、平成16年10月～12月、及び平成18年10月に確認された地下水位の上昇は、工事に起因するものではないことを確認しております。

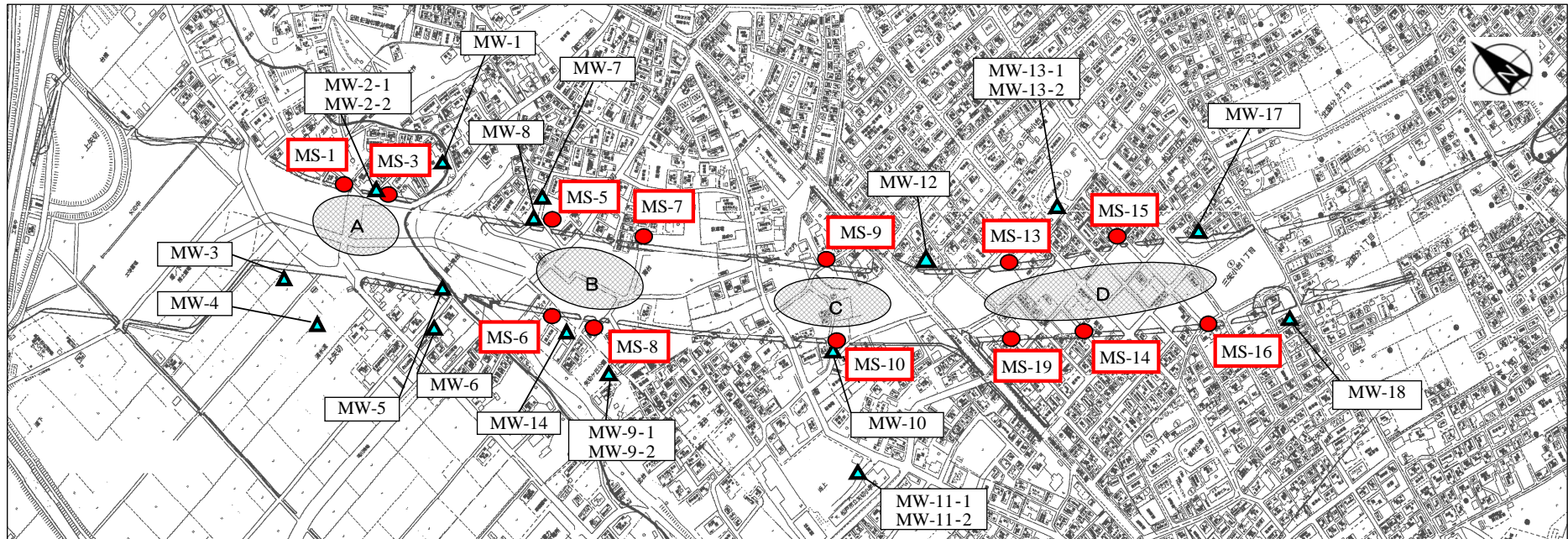
矢切地区の12月の調査結果のお知らせ

■担当窓口：国土交通省関東地方整備局
首都国道事務所 調査設計課
■電話番号：047-362-4115

平素は、国土交通省の^{がいのん}外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
首都国道事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ^{がいのん}外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
そのうち、12月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

1. 調査項目および調査地点

調査項目、および調査地点を下の図に示します。



| 施工範囲 | 施工業者 |
|-------------|-------------|
| A 矢切舗装その4工事 | (株) 佐藤渡辺 |
| B 矢切函渠その5工事 | (株) 不動テトラ |
| C 矢切函渠その6工事 | 青木あすなろ建設(株) |
| D 矢切函渠その7工事 | (株) 大林組 |

| 凡例 | |
|----|--------------------------------|
| ● | : 騒音・振動調査地点 (13 地点) |
| ▲ | : 地下水位・水質 (水位: 20 地点、水質: 7 地点) |
| ○ | : 工事の施工範囲 |

2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○ 法律による規制基準を満足しています。

| 調査地点 | 付近の工事内容 | 騒音レベル L_{A5} (dB) | 振動レベル L_{10} (dB) | 調査日 |
|-----------|-------------|---------------------------|---------------------------|--------|
| MS-1 | A 矢切舗装その4工事 | 68 | 53 | 12月21日 |
| MS-3 | | 66 | 47 | |
| MS-5 | B 矢切函渠その5工事 | 54 | 33 | 12月21日 |
| MS-6 | | 54 | 37 | |
| MS-7 | | 57 | 41 | |
| MS-8 | | 59 | 39 | |
| MS-9 | C 矢切函渠その6工事 | 56 | 51 | 12月6日 |
| MS-10 | | 57 | 44 | |
| MS-13 | D 矢切函渠その7工事 | 60 | 39 | 12月14日 |
| MS-14 | | 61 | 41 | |
| MS-15 | | 63 | 45 | |
| MS-16 | | 55 | 38 | |
| MS-19 | | 63 | 45 | |
| 法律による規制基準 | | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 | |
| | | 85 | 75 | |

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準値と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準値と比較する値です。

3. 地下水質調査結果（調査日：12月10日）

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 測定地点 | MW-2-1 | MW-2-2 | MW-3 | MW-8 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| pH | 6.9 | 6.6 | 7.2 | 6.9 |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 測定地点 | MW-10 | MW-12 | MW14 | |
| pH | 6.3 | 6.9 | 7.3 | |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | |

解説

★測定項目について

●pH（水素イオン濃度）

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあるため監視測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

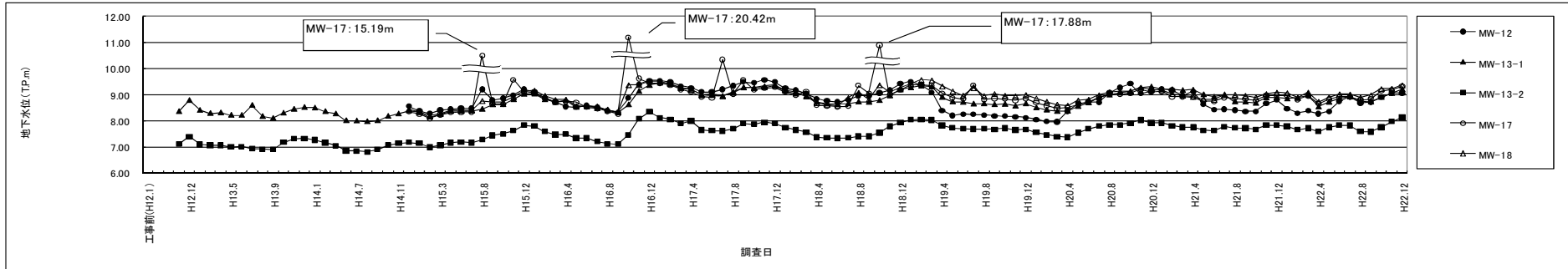
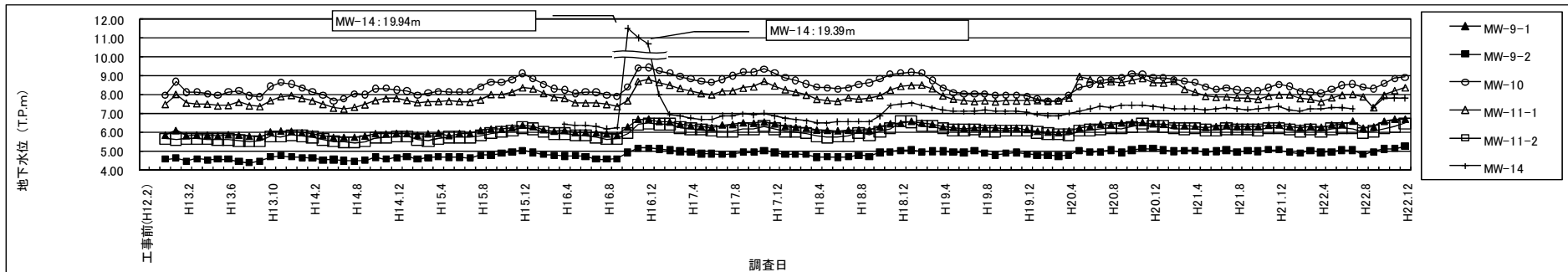
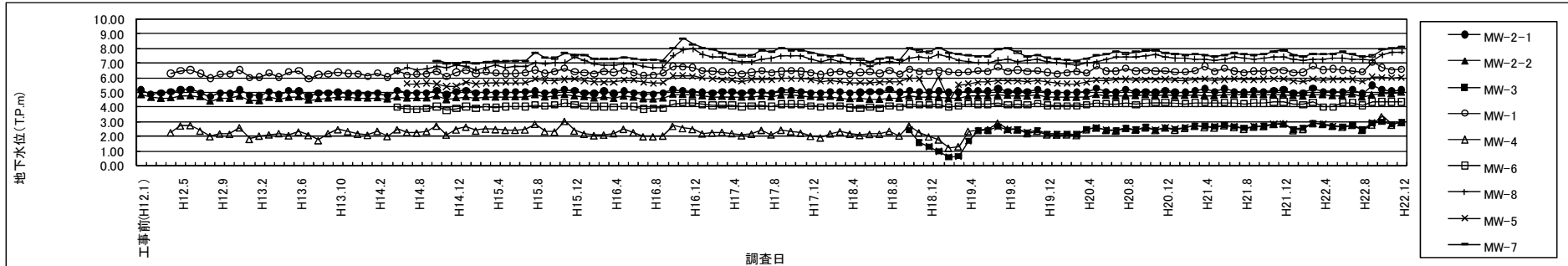
4. 地下水位調査結果（調査日：12月9日）

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○これまでに工事による地下水位の低下は見られません。

測定結果の単位：m (T.P.)

| 調査月 | MW-1 | MW-2-1 | MW-2-2 | MW-3 | MW-4 | MW-5 | MW-6 | MW-7 | MW-8 | MW-9-1 |
|-----|-------|--------|--------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|---------|
| 10月 | 6.70 | 5.18 | 4.93 | 3.00 | 3.36 | 6.01 | 4.35 | 7.94 | 7.55 | 6.58 |
| 11月 | 6.51 | 5.09 | 4.88 | 2.80 | 2.78 | 5.98 | 4.34 | 8.00 | 7.73 | 6.69 |
| 12月 | 6.59 | 5.15 | 5.00 | 2.94 | 2.96 | 6.03 | 4.35 | 8.11 | 7.77 | 6.69 |
| 調査月 | MW-10 | W11-1 | W-12 | MW-13-1 | MW-14 | MW-17 | MW-18 | MW9-2 | MW11-2 | MW-13-2 |
| 10月 | 8.59 | 7.97 | 8.91 | 8.91 | 7.83 | 9.15 | 9.23 | 5.12 | 6.21 | 7.76 |
| 11月 | 8.86 | 8.22 | 9.07 | 9.06 | 7.81 | 9.19 | 9.24 | 5.13 | 6.31 | 7.98 |
| 12月 | 8.93 | 8.37 | 9.06 | 9.1 | 7.81 | 9.32 | 9.37 | 5.26 | 6.48 | 8.14 |



備考1：上表の平成15年8月、平成16年10月～12月、及び平成18年10月に確認された地下水位の上昇は、工事に起因するものではないことを確認しております。

稲荷木地区の10月の調査結果のお知らせ

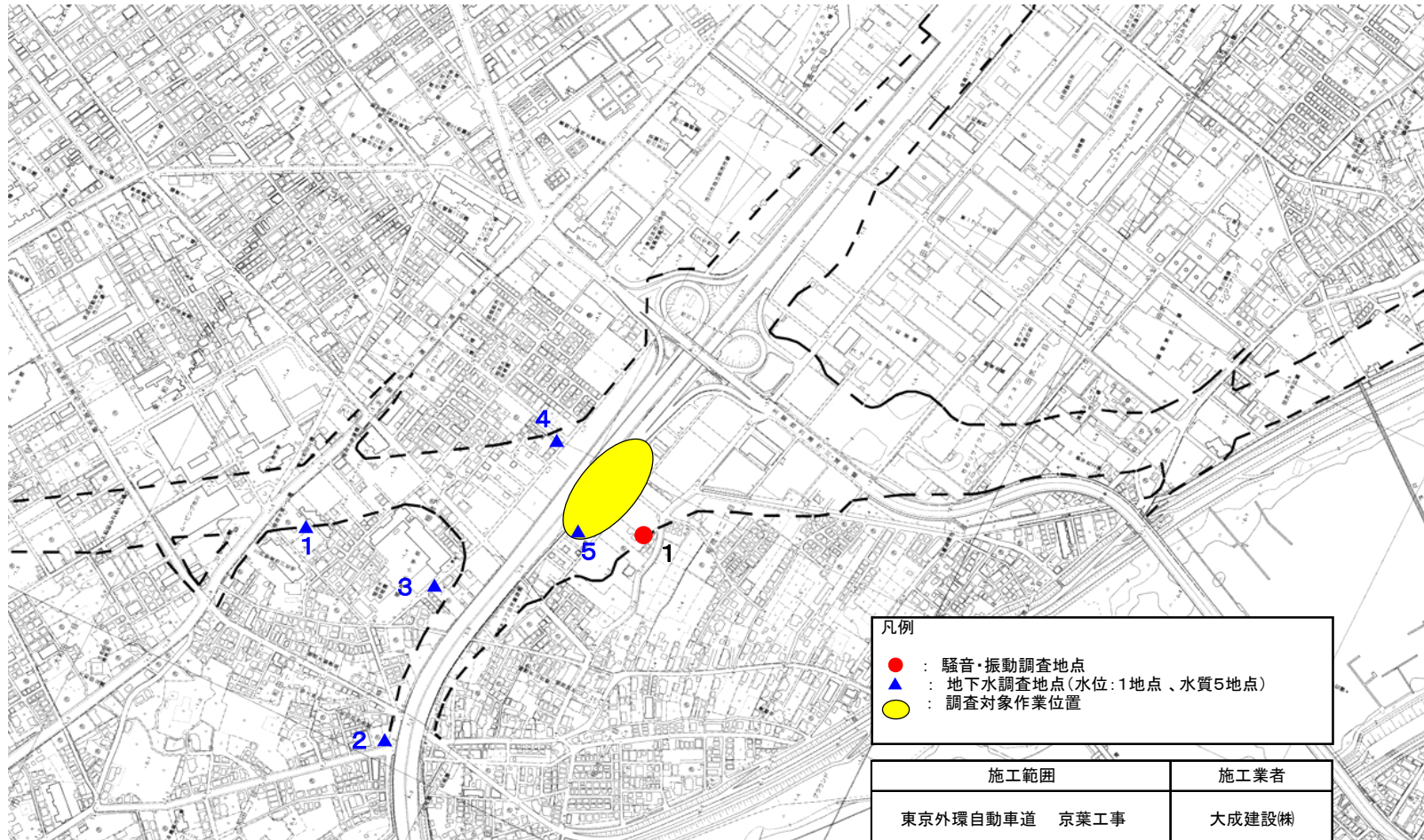
平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しています。

そのうち、10月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先： 東日本高速道路㈱
千葉工事事務所 環境技術課
TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



2.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
○法律による規制基準を満足しています。

| 調査地点 | 付近の工事内容 | 騒音レベル L_{A5} (dB) | 振動レベル L_{10} (dB) | 調査日 |
|------------|---------|---------------------------------|---------------------------------|--------|
| 1 | 京葉工事 | 62 | 44 | 10月27日 |
| 昼間(8時～17時) | | | | |
| 法律による規制基準 | | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85 | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75 | |

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} とします。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果 (調査日: 10月21、22日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 調査地点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 帯水層 | As1層 | | | | |
| pH | 7.1 | 7.4 | 7.2 | 7.3 | 7.0 |
| 六価クロム (mg/l) | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 |

解説

★測定項目について

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから監視・測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

●六価クロム

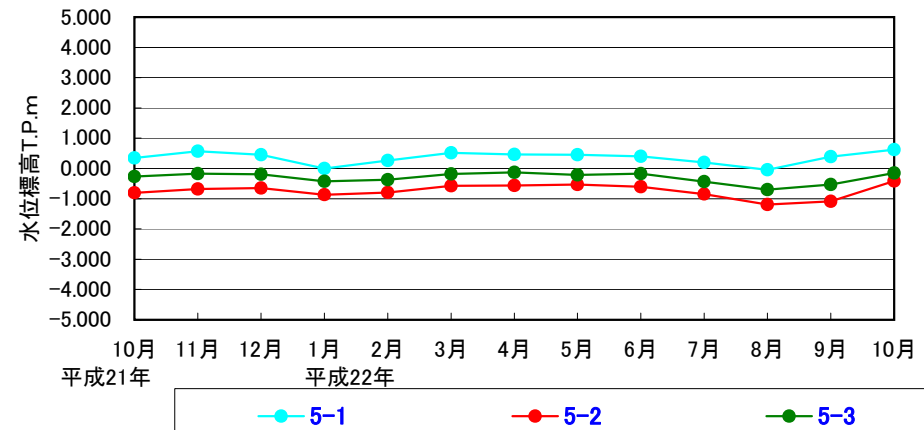
地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは、当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

4.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○変動は気候による変位の範囲内であり、工事による地下水位の低下は見られません。

| 調査地点 | | 5-1 | 5-2 | 5-3 |
|------|-----|--------|--------|--------|
| 帯水層 | | As1 | Ds2l | Ds2u |
| H21 | 10月 | 0.349 | -0.802 | -0.264 |
| | 11月 | 0.566 | -0.673 | -0.170 |
| | 12月 | 0.455 | -0.650 | -0.193 |
| H22 | 1月 | -0.005 | -0.864 | -0.428 |
| | 2月 | 0.260 | -0.797 | -0.370 |
| | 3月 | 0.513 | -0.571 | -0.183 |
| | 4月 | 0.468 | -0.555 | -0.125 |
| | 5月 | 0.454 | -0.526 | -0.216 |
| | 6月 | 0.397 | -0.606 | -0.171 |
| | 7月 | 0.206 | -0.849 | -0.434 |
| | 8月 | -0.039 | -1.190 | -0.694 |
| | 9月 | 0.388 | -1.088 | -0.524 |
| | 10月 | 0.619 | -0.412 | -0.152 |



解説

●T.P.m

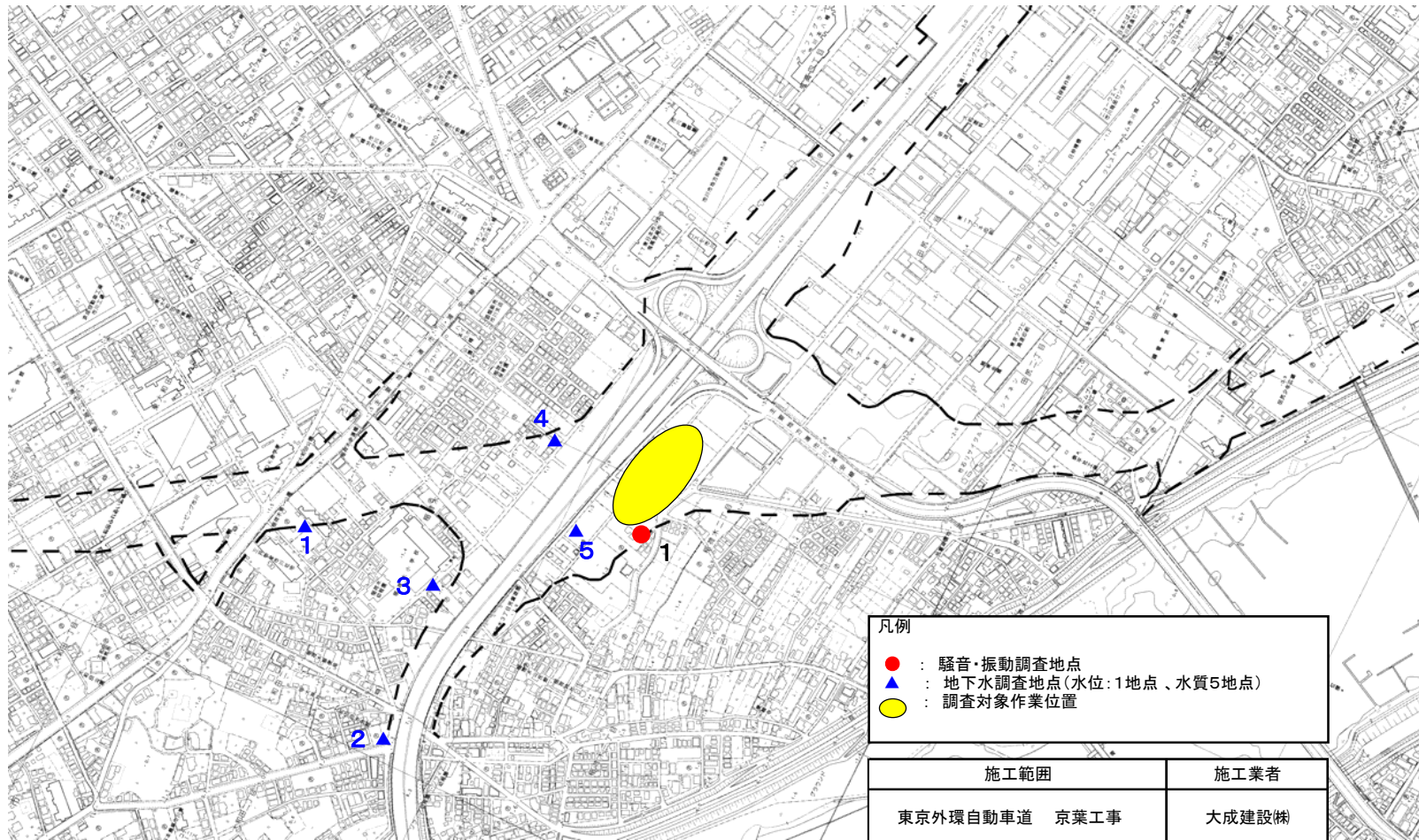
東京湾平均海面(東京湾中等潮位=T.P.)を基準とした高さを表すもので、地面や水面等の高さを表すときに用います。

稲荷木地区の11月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しています。
 そのうち、11月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先： 東日本高速道路㈱
 千葉工事事務所 環境技術課
 TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



2.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
○法律による規制基準を満足しています。

| 調査地点 | 付近の工事内容 | 騒音レベル L_{A5} (dB) | 振動レベル L_{10} (dB) | 調査日 |
|------------|---------|---------------------------------|---------------------------------|--------|
| 1 | 京葉工事 | 60 | 41 | 11月18日 |
| 昼間(8時～17時) | | | | |
| 法律による規制基準 | | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85 | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75 | |

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} とします。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果(調査日: 11月24、25、26日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 調査地点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 帯水層 | As1層 | | | | |
| pH | 7.3 | 7.4 | 7.3 | 7.0 | 7.1 |
| 六価クロム(mg/l) | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 |

解説

★測定項目について

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから監視・測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

●六価クロム

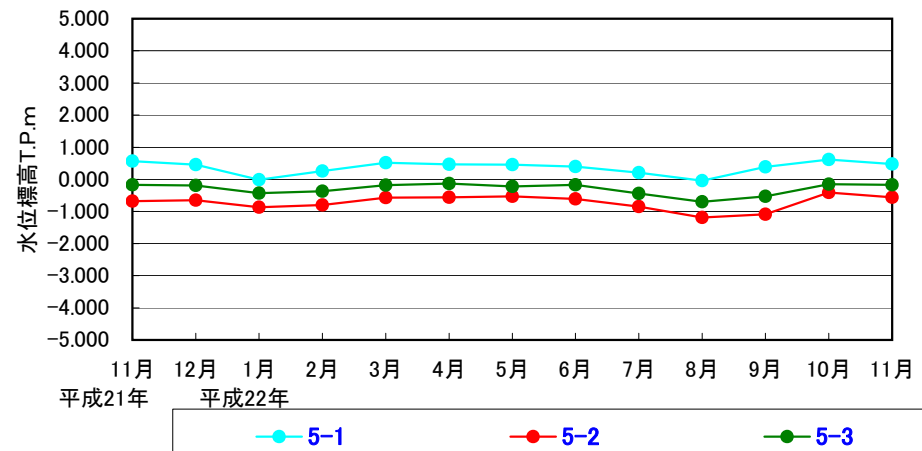
地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は 0.05mg/l 以下とされています。「0.005未満」とは、当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

4.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○変動は気候による変位の範囲内であり、工事による地下水位の低下は見られません。

| 調査地点 | | 5-1 | 5-2 | 5-3 |
|------|-----|--------|--------|--------|
| 帯水層 | | As1 | Ds2l | Ds2u |
| H21 | 11月 | 0.566 | -0.673 | -0.170 |
| | 12月 | 0.455 | -0.650 | -0.193 |
| H22 | 1月 | -0.005 | -0.864 | -0.428 |
| | 2月 | 0.260 | -0.797 | -0.370 |
| | 3月 | 0.513 | -0.571 | -0.183 |
| | 4月 | 0.468 | -0.555 | -0.125 |
| | 5月 | 0.454 | -0.526 | -0.216 |
| | 6月 | 0.397 | -0.606 | -0.171 |
| | 7月 | 0.206 | -0.849 | -0.434 |
| | 8月 | -0.039 | -1.190 | -0.694 |
| | 9月 | 0.388 | -1.088 | -0.524 |
| | 10月 | 0.619 | -0.412 | -0.152 |
| | 11月 | 0.483 | -0.554 | -0.167 |



解説

●T.P.m

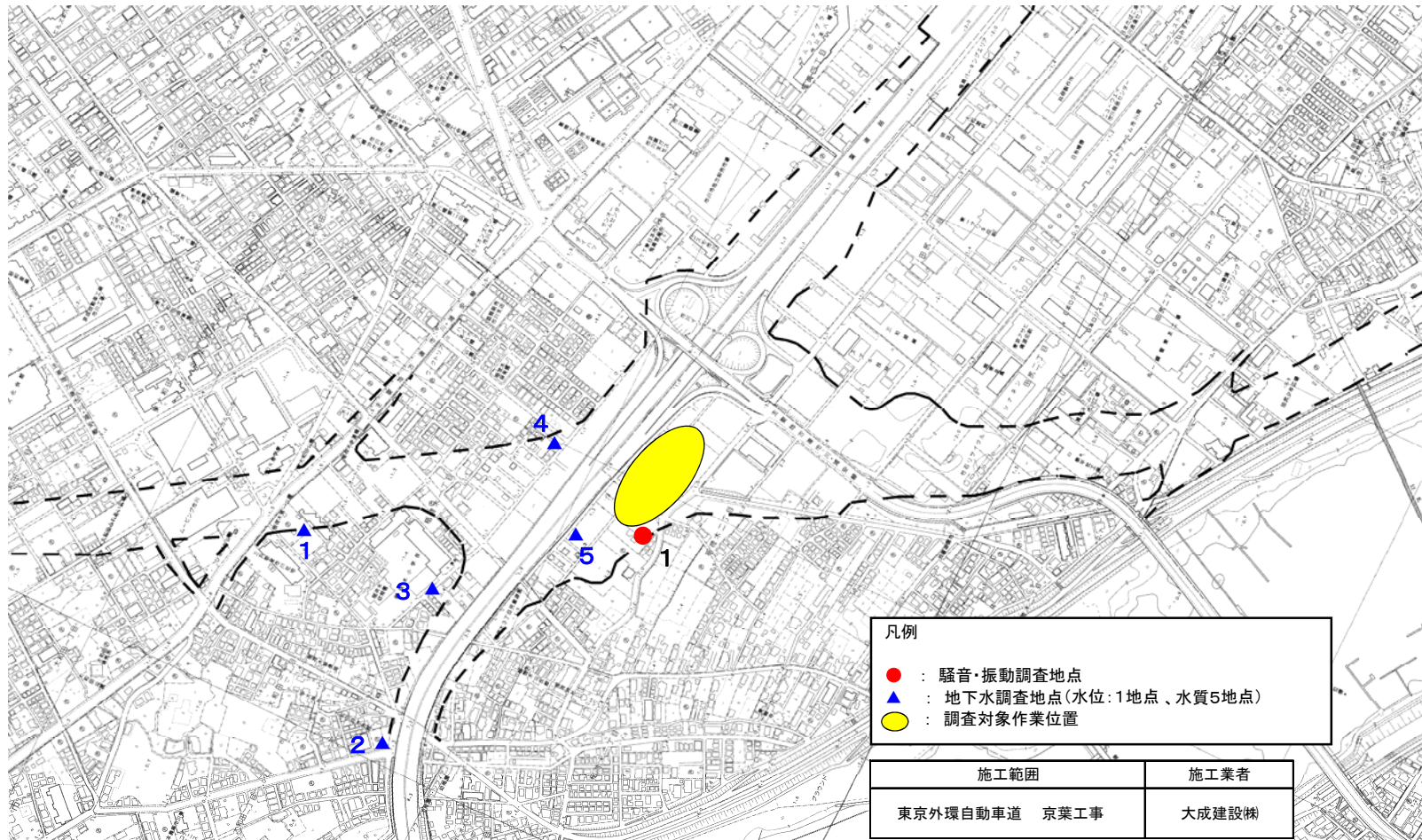
東京湾平均海面(東京湾中等潮位=T.P.)を基準とした高さを表すもので、地面や水面等の高さを表すときに用います。

稲荷木地区の12月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しています。
 そのうち、12月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先： 東日本高速道路㈱
 千葉工事事務所 環境技術課
 TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



2.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
○法律による規制基準を満足しています。

| 調査地点 | 付近の工事内容 | 騒音レベル L_{A5} (dB) | 振動レベル L_{10} (dB) | 調査日 |
|------------|---------|---------------------------------|---------------------------------|--------|
| 1 | 京葉工事 | 56 | 48 | 12月27日 |
| 昼間(8時～17時) | | | | |
| 法律による規制基準 | | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85 | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75 | |

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} とします。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果(調査日: 12月23、24、25日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 調査地点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 帯水層 | As1層 | | | | |
| pH | 7.2 | 7.5 | 7.3 | 7.4 | 7.0 |
| 六価クロム(mg/l) | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.005未満 |

解説

★測定項目について

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから監視・測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

●六価クロム

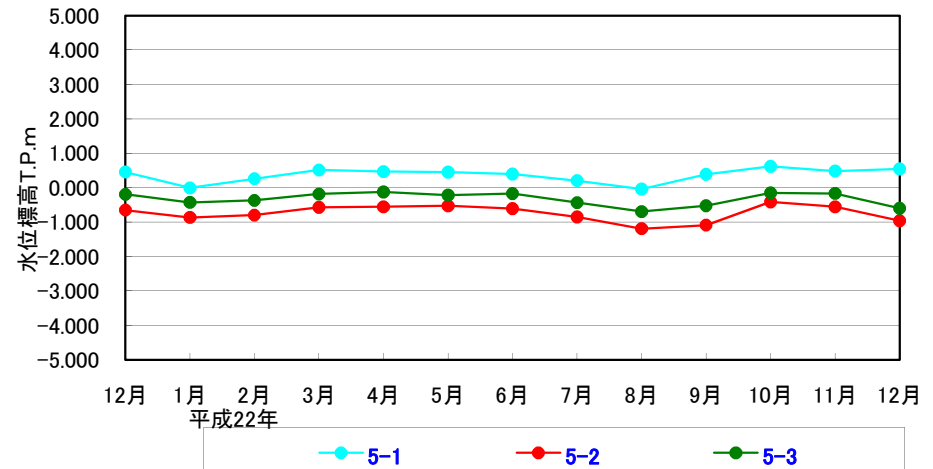
地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は 0.05mg/l 以下とされています。「0.005未満」とは、当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

4.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○変動は気候による変位の範囲内であり、工事による地下水位の低下は見られません。

| 調査地点 | | 5-1 | 5-2 | 5-3 |
|------|-----|--------|--------|--------|
| 帯水層 | | As1 | Ds2l | Ds2u |
| H21 | 12月 | 0.455 | -0.650 | -0.193 |
| H22 | 1月 | -0.005 | -0.864 | -0.428 |
| | 2月 | 0.260 | -0.797 | -0.370 |
| | 3月 | 0.513 | -0.571 | -0.183 |
| | 4月 | 0.468 | -0.555 | -0.125 |
| | 5月 | 0.454 | -0.526 | -0.216 |
| | 6月 | 0.397 | -0.606 | -0.171 |
| | 7月 | 0.206 | -0.849 | -0.434 |
| | 8月 | -0.039 | -1.190 | -0.694 |
| | 9月 | 0.388 | -1.088 | -0.524 |
| | 10月 | 0.619 | -0.412 | -0.152 |
| | 11月 | 0.483 | -0.554 | -0.167 |
| | | 12月 | 0.546 | -0.961 |



解説

●T.P.m

東京湾平均海面(東京湾中等潮位=T.P.)を基準とした高さを表すもので、地面や水面等の高さを表すときに用います。

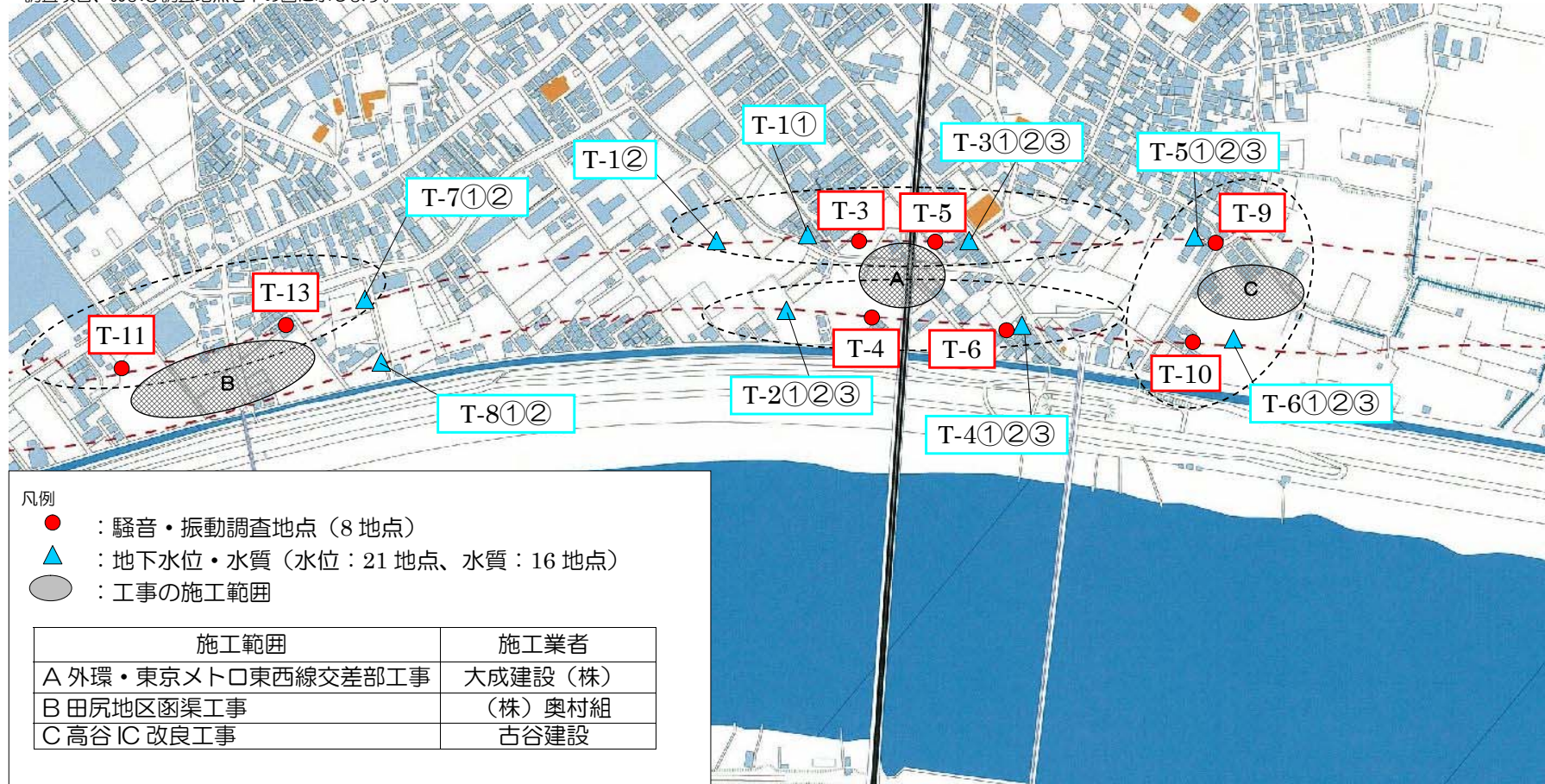
東西線周辺地区の10月の調査結果のお知らせ

■担当窓口：国土交通省関東地方整備局
 首都国道事務所 調査設計課
 ■電話番号：047-362-4115

平素は、国土交通省の^{がいひん}外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 首都国道事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ^{がいひん}外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、10月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

1. 調査項目および調査地点

調査項目、および調査地点を下の図に示します。



- 凡例
- : 騒音・振動調査地点 (8 地点)
 - ▲ : 地下水位・水質 (水位：21 地点、水質：16 地点)
 - : 工事の施工範囲

| 施工範囲 | 施工業者 |
|--------------------|---------|
| A 外環・東京メトロ東西線交差部工事 | 大成建設(株) |
| B 田尻地区函渠工事 | (株) 奥村組 |
| C 高谷 IC 改良工事 | 古谷建設 |

2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○ 法律による規制基準を満足しています。

| 調査地点 | 付近の工事内容 | 騒音レベル L_{A5} (dB) | 振動レベル L_{10} (dB) | 調査日 |
|-----------|--------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------|
| T-3 | A 外環・東京メトロ東西線交差部工事 | 70 | 48 | 10月13日 |
| T-5 | | 70 | 46 | |
| T-4 | A 外環・東京メトロ東西線交差部工事 | 74 | 50 | 10月13日 |
| T-6 | | 63 | 45 | |
| T-11 | B 田尻地区函渠工事 | 70 | 51 | 10月13日 |
| T-13 | | 59 | 51 | |
| T-9 | C 高谷IC改良工事 | 59 | 44 | 10月5日 |
| T-10 | | 57 | 48 | |
| 法律による規制基準 | | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85 | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75 | |

解説

- 騒音レベル L_{A5}
騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準値と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準値と比較する値です。

3. 地下水質調査結果 (調査日: 10月8日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○ pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 測定地点 | T-1① | T-1② | T-2① | T-2② | T-3① | T-3② |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| pH | 7.3 | 7.4 | 6.9 | 7.3 | 8.1 | 7.7 |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 測定地点 | T-4① | T-4② | T-5① | T-5② | T-6① | T-6② |
| pH | 7.2 | 7.3 | 7.3 | 7.7 | 7.1 | 7.5 |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 測定地点 | T-7① | T-7② | T-8① | T-8② | | |
| pH | 7.3 | 8.3 | 7.1 | 7.0 | | |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | | |

備考: ①は地表から5m程度、②は地表から35m程度の層を対象としています。

解説

★測定項目について

- pH (水素イオン濃度)
地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあるため監視測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。
- 六価クロム
地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

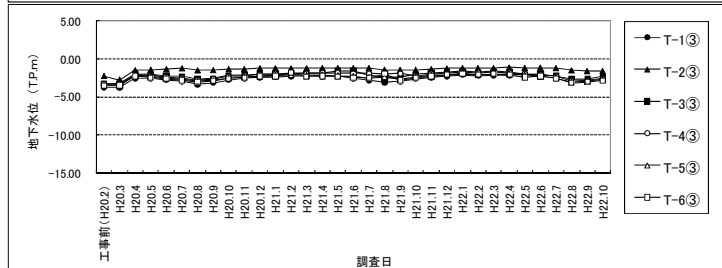
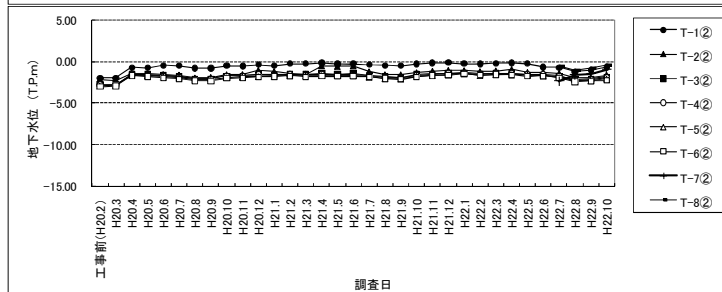
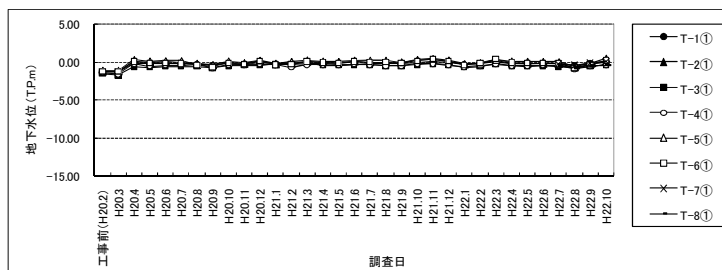
4. 地下水位調査結果 (調査日: 10月7日)

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○ これまでに工事による地下水位の低下は見られません。

| 調査月 | T-1① | T-1② | T-2① | T-2② | T-2③ | T-3① | T-3② | T-3③ | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 8月 | -0.46 | -1.20 | -0.70 | -1.95 | -1.52 | -0.74 | -2.18 | -2.65 | |
| 9月 | -0.11 | -1.05 | -0.26 | -1.94 | -1.62 | -0.54 | -2.12 | -2.61 | |
| 10月 | -0.05 | -0.67 | 0.04 | -1.63 | -1.61 | -0.33 | -1.85 | -2.33 | |
| 調査月 | T-4① | T-4② | T-4③ | T-5① | T-5② | T-5③ | T-6① | T-6② | T-6③ |
| 8月 | -0.92 | -2.26 | -2.90 | -0.60 | -2.37 | -3.02 | -0.70 | -2.44 | -3.14 |
| 9月 | -0.55 | -2.17 | -2.83 | -0.19 | -2.29 | -2.98 | -0.25 | -2.35 | -3.01 |
| 10月 | -0.35 | -1.92 | -2.58 | 0.53 | -2.06 | -2.71 | 0.24 | -2.25 | -2.85 |
| 調査月 | T-7① | T-7② | T-8① | T-8② | | | | | |
| 8月 | -0.41 | -1.57 | -0.67 | -1.04 | | | | | |
| 9月 | -0.08 | -1.43 | -0.48 | -0.84 | | | | | |
| 10月 | 0.10 | -0.97 | -0.38 | -0.42 | | | | | |

備考: ①は地表から5m程度、②は地表から35m程度、③は地表から45m程度の層を対象としています。



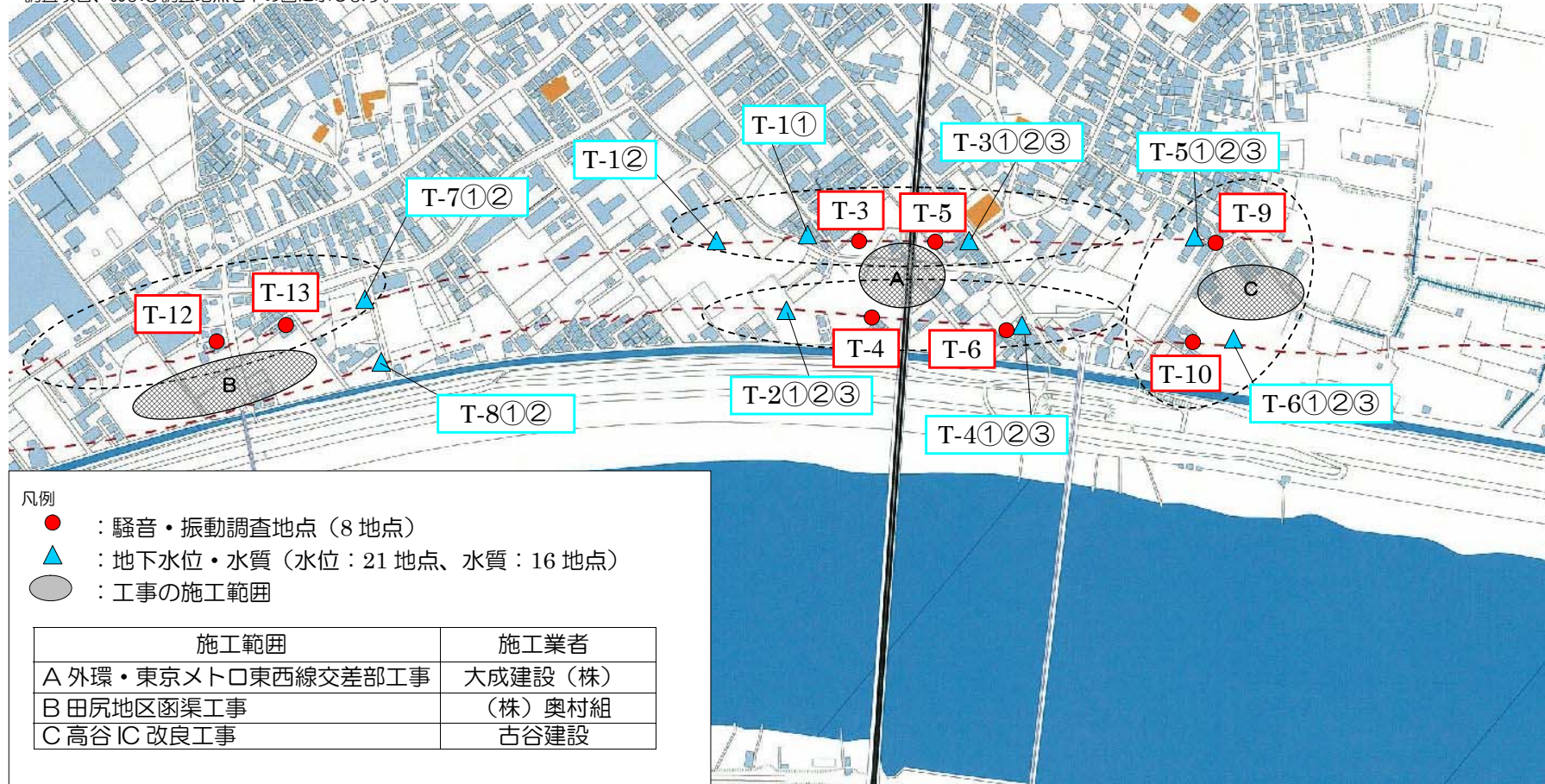
東西線周辺地区の11月の調査結果のお知らせ

■担当窓口：国土交通省関東地方整備局
 首都国道事務所 調査設計課
 ■電話番号：047-362-4115

平素は、国土交通省の^{がいひん}外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 首都国道事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ^{がいひん}外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、11月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

1. 調査項目および調査地点

調査項目、および調査地点を下の図に示します。



- 凡例
- : 騒音・振動調査地点 (8 地点)
 - ▲ : 地下水位・水質 (水位：21 地点、水質：16 地点)
 - : 工事の施工範囲

| 施工範囲 | 施工業者 |
|--------------------|---------|
| A 外環・東京メトロ東西線交差部工事 | 大成建設(株) |
| B 田尻地区函渠工事 | (株) 奥村組 |
| C 高谷 IC 改良工事 | 古谷建設 |

2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○ 法律による規制基準を満足しています。

| 調査地点 | 付近の工事内容 | 騒音レベル L_{A5} (dB) | 振動レベル L_{10} (dB) | 調査日 |
|-----------|--------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------|
| T-3 | A 外環・東京メトロ東西線交差部工事 | 68 | 45 | 11月9日 |
| T-5 | | 68 | 45 | |
| T-4 | A 外環・東京メトロ東西線交差部工事 | 74 | 48 | 11月12日 |
| T-6 | | 63 | 45 | |
| T-12 | B 田尻地区函渠工事 | 62 | 51 | 11月1日 |
| T-13 | | 60 | 51 | |
| T-9 | C 高谷IC改良工事 | 63 | 45 | 11月8日 |
| T-10 | | 59 | 49 | |
| 法律による規制基準 | | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85 | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75 | |

解説

- 騒音レベル L_{A5}
騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準値と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準値と比較する値です。

3. 地下水質調査結果 (調査日: 11月9日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○ pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 測定地点 | T-1① | T-1② | T-2① | T-2② | T-3① | T-3② |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| pH | 7.5 | 7.7 | 7.2 | 7.6 | 10.2 | 8.1 |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 測定地点 | T-4① | T-4② | T-5① | T-5② | T-6① | T-6② |
| pH | 7.3 | 7.4 | 7.5 | 8.0 | 7.2 | 7.7 |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 測定地 | T-7① | T-7② | T-8① | T-8② | | |
| pH | 7.5 | 8.0 | 7.3 | 7.4 | | |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | | |

備考: ①は地表から5m程度、②は地表から35m程度の層を対象としています。

解説

★測定項目について

●pH (水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあるため監視測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。

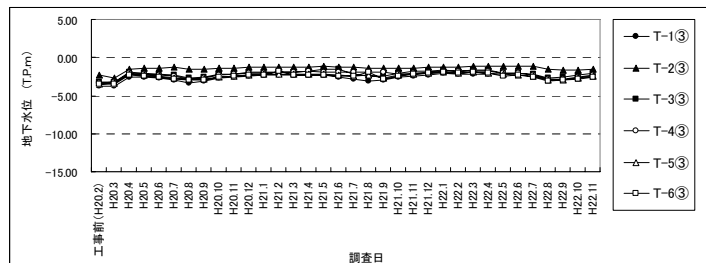
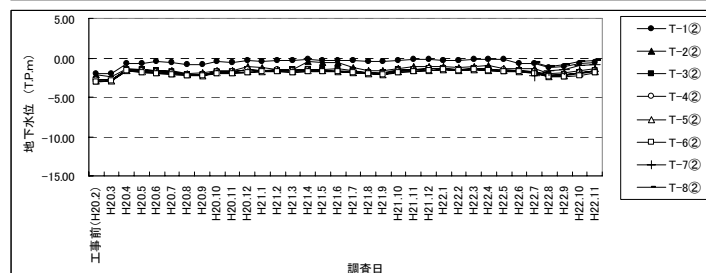
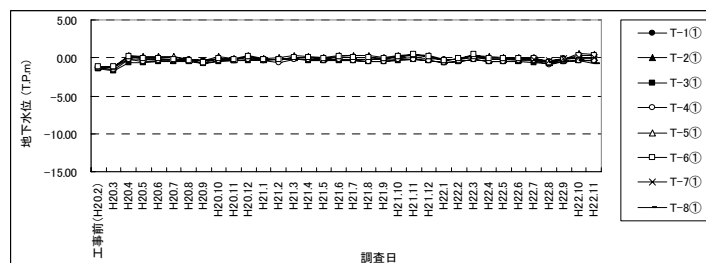
4. 地下水位調査結果 (調査日: 11月8日)

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○ これまでに工事による地下水位の低下は見られません。

| 調査月 | T-1① | T-1② | T-2① | T-2② | T-2③ | T-3① | T-3② | T-3③ | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 9月 | -0.11 | -1.05 | -0.26 | -1.94 | -1.62 | -0.54 | -2.12 | -2.61 | |
| 10月 | -0.05 | -0.67 | 0.04 | -1.63 | -1.61 | -0.33 | -1.85 | -2.33 | |
| 11月 | -0.09 | -0.63 | -0.01 | -1.40 | -1.53 | -0.36 | -1.62 | -2.04 | |
| 調査月 | T-4① | T-4② | T-4③ | T-5① | T-5② | T-5③ | T-6① | T-6② | T-6③ |
| 9月 | -0.55 | -2.17 | -2.83 | -0.19 | -2.29 | -2.98 | -0.25 | -2.35 | -3.01 |
| 10月 | -0.35 | -1.92 | -2.58 | 0.53 | -2.06 | -2.71 | 0.24 | -2.25 | -2.85 |
| 11月 | -0.39 | -1.68 | -2.29 | 0.48 | -1.80 | -2.44 | 0.24 | -1.92 | -2.52 |
| 調査月 | T-7① | T-7② | T-8① | T-8② | | | | | |
| 9月 | -0.08 | -1.43 | -0.48 | -0.84 | | | | | |
| 10月 | 0.10 | -0.97 | -0.38 | -0.42 | | | | | |
| 11月 | 0.08 | -0.88 | -0.80 | -0.34 | | | | | |

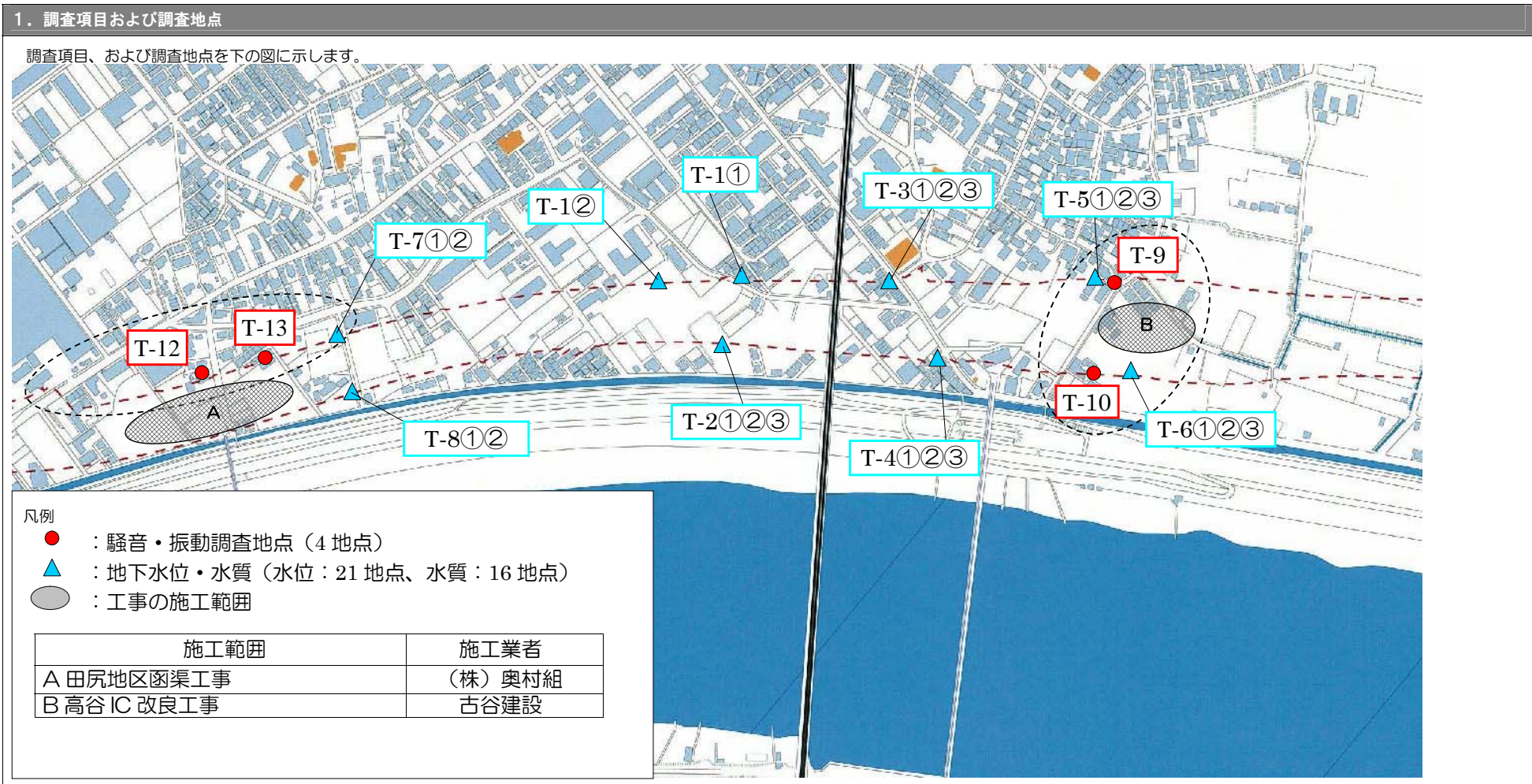
備考: ①は地表から5m程度、②は地表から35m程度、③は地表から45m程度の層を対象としています。



東西線周辺地区の12月の調査結果のお知らせ

■担当窓口：国土交通省関東地方整備局
 首都国道事務所 調査設計課
 ■電話番号：047-362-4115

平素は、国土交通省の^{がいひん}外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 首都国道事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ^{がいひん}外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、12月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○ 法律による規制基準を満足しています。

| 調査地点 | 付近の工事内容 | 騒音レベル L_{A5} (dB) | 振動レベル L_{10} (dB) | 調査日 |
|-----------|------------|---------------------------------|---------------------------------|--------|
| T-12 | A 田尻地区函渠工事 | 61 | 52 | 12月21日 |
| T-13 | | 57 | 50 | |
| T-9 | B 高谷IC改良工事 | 63 | 42 | 12月13日 |
| T-10 | | 62 | 47 | |
| 法律による規制基準 | | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85 | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75 | |

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準値と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準値と比較する値です。

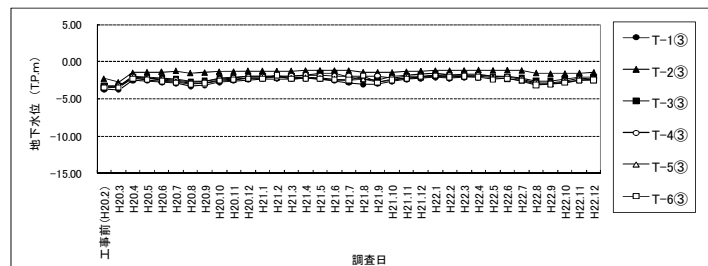
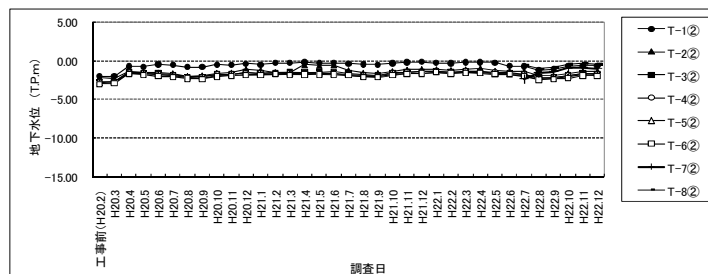
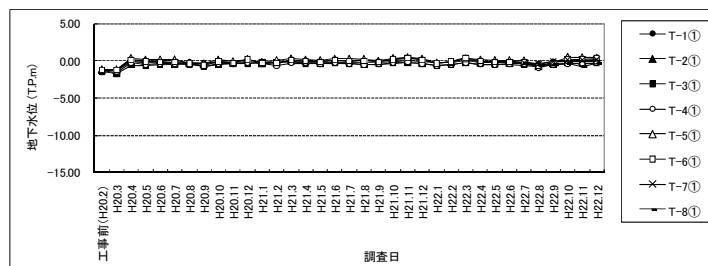
4. 地下水調査結果 (調査日：12月6日)

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○ これまでに工事による地下水位の低下は見られません。

| 調査月 | T-1① | T-1② | T-2① | T-2② | T-2③ | T-3① | T-3② | T-3③ | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 10月 | -0.05 | -0.67 | 0.04 | -1.63 | -1.61 | -0.33 | -1.85 | -2.33 | |
| 11月 | -0.09 | -0.63 | -0.01 | -1.40 | -1.53 | -0.36 | -1.62 | -2.04 | |
| 12月 | -0.04 | -0.65 | 0.03 | -1.35 | -1.46 | -0.32 | -1.68 | -2.06 | |
| 調査月 | T-4① | T-4② | T-4③ | T-5① | T-5② | T-5③ | T-6① | T-6② | T-6③ |
| 10月 | -0.35 | -1.92 | -2.58 | 0.53 | -2.06 | -2.71 | 0.24 | -2.25 | -2.85 |
| 11月 | -0.39 | -1.68 | -2.29 | 0.48 | -1.80 | -2.44 | 0.24 | -1.92 | -2.52 |
| 12月 | -0.30 | -1.76 | -2.31 | 0.40 | -1.86 | -2.40 | 0.37 | -1.94 | -2.49 |
| 調査月 | T-7① | T-7② | T-8① | T-8② | | | | | |
| 10月 | 0.10 | -0.97 | -0.38 | -0.42 | | | | | |
| 11月 | 0.08 | -0.88 | -0.80 | -0.34 | | | | | |
| 12月 | 0.17 | -1.01 | -0.36 | -0.44 | | | | | |

備考:①は地表から5m程度、②は地表から35m程度、③は地表から45m程度の層を対象としています。



3. 地下水質調査結果 (調査日：12月7日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○ pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 測定地点 | T-1① | T-1② | T-2① | T-2② | T-3① | T-3② |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| pH | 7.5 | 7.7 | 7.1 | 7.6 | 7.8 | 8.0 |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 測定地点 | T-4① | T-4② | T-5① | T-5② | T-6① | T-6② |
| pH | 7.5 | 7.4 | 7.2 | 8.0 | 7.3 | 7.8 |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 測定地 | T-7① | T-7② | T-8① | T-8② | | |
| pH | 7.5 | 7.6 | 7.2 | 7.4 | | |
| 六価クロム (mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | | |

備考:①は地表から5m程度、②は地表から35m程度の層を対象としています。

解説

★測定項目について

●pH (水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあるため監視測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固化剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは当調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。